

で指定された大きさとなる。

添字式の形	例
1. C	A (5)
2. V	A (K)
3. V + C	A (K + 2)
4. V - C	A (K - 3)
5. C * V	A (3 * K)
6. C * V + C'	A (3 * K + 2)
7. C * V - C'	A (3 * K - 2)

ここで、C、C'は、符号なしの整数、Vは整数である。

4 式

式は、定数、変数（添字つき変数を含む）、関数を演算子で結合することにより表現する。

4-1 算術式 (arithmetic expression)

(算術演算子)

算術演算子	意味
+	加算、正符号
-	減算、負符号
*	乗算
/	除算
**	累乗

いくつかの算術演算子が書かれた場合には、優先順位の高いものから順に実行される。同一順位の算術演算子に対しては、左より右へと実行される。ただし、関数を含む式においては、関数がさきに評価される。

(算術演算子の優先順位)

1. ** 2. *, / 3. +, -

[例]

$$A ** B / C + D * E * F - G \dots \frac{a^b}{c} + d \cdot e \cdot f - g$$

$$P + Q - G(2, 3) * \text{SIN}(X) ** 2 \dots p + q - g_{23} \cdot \sin^2(x)$$

(算術演算子間の優先順位の変更)

算術演算子間の実行に関する優先順位は、カッコを用いることにより変更される。カッコの中にカッコが含まれる場合には、内側のカッコよりさきに評価される。カッコ内の算術演算子は前述の優先順位の約束にしたがう。

[例]

$$A * (B + ((C + D) / (E * F) - G) * H) \dots a \cdot \{b + (\frac{c+d}{e \cdot f} - g) \cdot h\}$$